

CASBEE-建築(新築)2016年版
鳥取市公設地方卸売市場再整備事業 その2■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
G 建築物の環境品質			0.32		-	3.0
Q1 室内環境						3.2
1 音環境		2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 室内騒音レベル		2.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		2.8	0.25	-	-	2.8
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		2.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		4.2	0.25	-	-	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を使用。(特記仕様書、カタログ等参照)	5.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	喫煙室は設けていない。敷地外において、喫煙スペースを設ける。	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画	エレベーターや多機能便所等を整備(平面詳細図参照)	4.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	評価する項目の該当箇所を実施。(仕上表、部分詳細図等参照)	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔	CASBEEとつり補助資料の通りの更新期間の仕上材を採用(仕上表参照)	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外部分はSUS304型を採用。(機械特記仕様書参照)	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を採用し、Eは不使用。(機械特記仕様書参照)	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水型便器、マンホールトイレ、井水消雪装置を計画(カタログ等参照)	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	平屋のため、屋根までの高さで算出。4.0m以上で設計。(断面詳細図等参照)	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	0.1 ≤ (壁長さ比率) < 0.3を確保。(壁長さ比率計算参照)	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.38	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	作業しやすい軒の深い庇や見学動線を確保(平面・断面詳細図参照)	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減能力		-	0.40	-	-	3.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		2.3	0.20	-	-	2.3
2 自然エネルギー利用	青果物の常温施設において、温度差による重力換気を採用。(断面詳細図等参照)	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.49	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護		3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水	節水器具を採用。(カタログ等参照)	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	植栽灌水システムの一部として雨水利用。(断面詳細図等参照)	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	共同アスコンRcc-40(路盤)、ビニル床材(事務室、MWC1、WWC1・床)、断熱材	4.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	極力、躯体に仕上を張り付けない計画としている。(部分詳細図等参照)	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用	F☆☆☆☆を使用。(特記仕様書、カタログ等参照)	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつ、GWPが低い断熱材を採用。(カタログ参照)	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して68%	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止	燃焼機器は不使用。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	交通渋滞抑制のため、待機車両停車場所を整備(外構図、提案書参照)	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	